

空幕長によるCSp0将官級会議への参加について

12月6日及び7日、航空幕僚長 内倉 浩昭 空将は、ドイツで開催されたCSp0イニシアチブ将官級会議に初めて参加しました。本会議への参加は、本年6月に策定された「宇宙安全保障構想」に記載されているCSp0イニシアチブへの参加という目標が実現したものです。

CSp0イニシアチブは、宇宙における行動の自由の確保、任務保証及び抗たん性の強化、紛争抑止等のための協力、調整及び相互運用性の機会の向上を目指す多国間枠組みです。

空幕長を含む参加者は、ルールに基づく国際秩序及び宇宙における責任ある行動を引き続き推進するとともに、宇宙関連活動の安全に関する課題に共同で対処する必要性について確認しました。

また、本会議では、同枠組みの包括的な目的を示すとともに、宇宙利用の自由、責任ある持続可能な宇宙利用、主権を認めつつパートナーシップを構築すること、国際法を遵守することなどを示した「CSp0ビジョン2031」の支持について出席者間で一致しました。

このビジョンは、同枠組みの活動の基礎であり、相互運用可能な体系の創出・運用から、宇宙における責任ある行動の促進、情報の共有等の各種取組から構成され、これらは全て安全、確実かつ持続可能な宇宙領域の追求につながるものです。

空自は、今後CSp0イニシアチブへの参加によって得られる知見や経験等も踏まえ、宇宙の安定的利用に貢献していきます。

